

あいあい学習（生活科・総合的な学習の時間）への取り組み

連尺小学校

①本校の総合的な学習の時間

3年生…105時間（環境学習60時間 町学習45時間）

4年生…105時間（環境学習70時間 町学習35時間）

*3・4年生は環境学習と町学習の比率は、学年で話し合って調整可

5年生…110時間（環境学習75時間 外国語活動35時間）

6年生…110時間（町学習75時間 外国語活動35時間）

②あいあい学習

（生活科の動物の飼育活動、町に関する学習と総合的な学習の時間での町学習と環境学習）

目標 ・自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく解決する態度や能力を育てる。

・グループ学習を実施したり、外部講師の協力を得ながら、多様な学び方やものの考え方を身につけ、自己の生き方や考え方に生かすことができるようにする。

身につけさせたい力と評価規準

身につけさせたい力		評価規準	低	中	高
課題発見力		①対象と関わる中で疑問を持ったり、興味関心を持ったりする中で次の活動への思いや願いを持つことができる。	○	○	
		②（教科の学習の中や日々の生活の中で見つけた）疑問を解決したり、自分の思いや願い（課題）を達成したりする上で問題となることがらを見つけ、すすんで解決していくことができる。	○	○	
		③自ら課題を持ち、その課題を達成するための見通しを持ったり、計画を立てたりすることができる。			○
		④次の活動へつなげる新たな課題を持つことができる。			○
課題追究力	対象と関わる活動力	⑤自分の思いや願いを達成するために継続的に飼育・栽培、観察・実験、調査などに取り組むことができる。	○	○	
		⑥課題や問題を解決するために必要な素材や人材を見つけ、積極的に関わろうとする。		○	○
		⑦課題解決に向けての計画に修正を加えながら、粘り強く活動することができる。			○
	集める力	⑧知りたいこと、分からないことを身近な人に聞くことができる。	○	○	
		⑨図鑑や文章資料によって知りたいことを調べることができる。	○	○	○
		⑩調べたことや分かったことを、絵や文に表すことができる。	○	○	
		⑪調べたことの中で必要なことがらを、適切な方法（デジカメ、ビデオ、パワーポイント等）で記録することができる。		○	○
分析する力	⑫集めた情報をもとに、自分の活動を振り返ったり、次の活動の見通しを持ったりすることができる。			○	
	表現・発信力	⑬競い合ったり力を合わせたりして、もの作りをしたり、遊んだりすることができる。	○		
		⑭自分の思いを絵や文、紙芝居、劇などで表し、発表することができる。	○		
⑮自分の思いや願いを模造紙やレポート、ビデオレポート、新聞などにまとめ、プレゼンテーションすることができる。			○		
⑯発表・交流の場を企画・運営することができる。				○	
気づき・実践力	⑰対象と関わる中で、生活に必要な事実に気づくことができる。	○	○	○	
	⑱友達のよさや自分のよさに気付くことができる。	○	○	○	
	⑲活動の成果を話し合ったり、発表会や交流会で振り返ったりして、自分の成長に気づき、生活をよりよいものにしようと活動していくことができる。	○	○	○	
	⑳知り得た知識や身につけた力をもとに、コミュニティーに参加・貢献するなど、社会をよりよく改善していこうと活動することができる。			○	